
僕と沙羅と上野動物園のパンダ（200文字小説）

日下部良介

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕と沙羅と上野動物園のパンダ（200文字小説）

【Nコード】

N2733S

【作者名】

日下部良介

【あらすじ】

リレー小説『そして人はいなくなっちゃいました』の番外編です。

(前書き)

本編が終わっていないのに“番外編”を書いてしまいました。本編の出来事を感じさせない平和な日常です。

僕の実家は東京の谷中にある。

沙羅が生まれてから、毎年、上野動物園の年間チケットを2枚送ってくる。

僕の方と沙羅の方だ。

年間チケットは通常の入場料金の4倍の値段だ。

つまり、4回は帰って来いという両親のメッセージなのだ。

最近、上野動物園にパンダがやってきた。

沙羅はとても楽しみにしている。

「春休みにパンダを見に行こう」と僕。

「お爺ちゃんとお婆ちゃんに会いに行くんだよ」

沙羅が言う。

でも、手にはパンダの絵本。

(後書き)

ちよつと一息……。

本編もいよいよ佳境に入っていきます。果たしてどんな結末になるのでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2733s/>

僕と沙羅と上野動物園のパンダ（200文字小説）

2011年10月4日20時33分発行